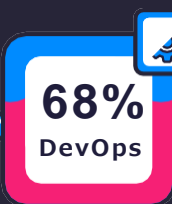


貴社のアプリ開発プロセスには健全性診断が必要ですか？

IT部門と業務部門それぞれのエグゼクティブを対象としたアンケート調査によって、デジタル・エコノミーの需要を満たす健全なアプリ開発プロセスの中に、「アジリティ・マスター」企業がどのようにAgileとDevOpsの手法を取り入れているのかが明らかにされました。



ほとんどの企業組織は、AgileとDevOpsの両方の慣行を全社的に浸透させようと取り組んでいます



取組中
(採用済みが25%、進行中が43%)



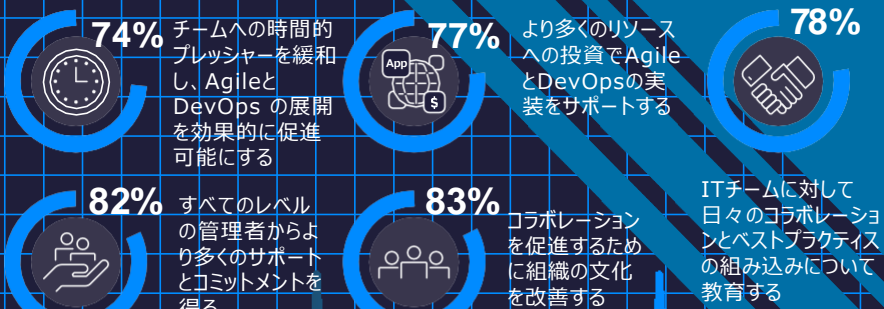
AgileとDevOpsを同時に実装できれば従来よりも高い効果が得られる



取組進行中
(採用済みが25%、進行中が55%)

ただし 多くの企業組織が主要な課題に四苦八苦しています

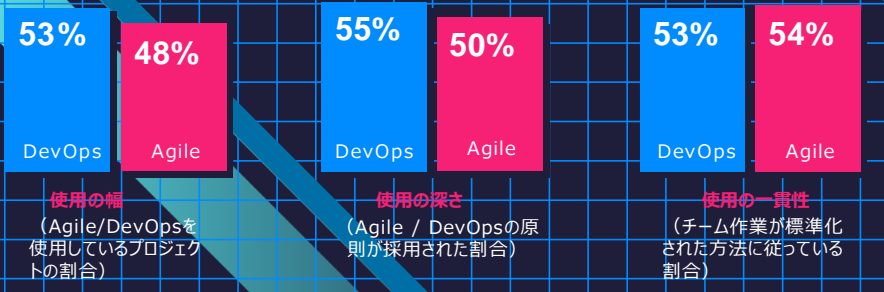
主な優先事項:



この結果,

Agile/DevOpsの実現を完全な成熟レベルまで高めることができたのは、調査対象企業組織のうちの半数に過ぎませんでした

AgileとDevOpsの成熟度モデルスコア4-5: 1 (低) ~ 5 (高)



“アジリティ・マスターズ”の紹介

今回の調査では、AgileとDevOpsの全面採用を最も進めてきた企業の上位20%が明らかにされ、これらの企業を“アジリティ・マスターズ”と命名しました。

アジリティ・マスターズと称される企業組織は、他の主流の企業組織のAgile/DevOpsの採用率を大幅に上回っています

(これらの組織はAgile/DevOpsの採用に強く同意)

ビジョン、文化、整合性
4.1倍
正しいビジョンと戦略をもつ可能性が高い

2.3倍
リスクをとる姿勢を支援する文化をもつ可能性が高い

2.3倍
ソフトウェア・チームと業務部門との足並みが揃っている可能性が高い

才能とスキル
2.3倍
継続的なスキル開発のトレーニングを提供する可能性が高い

2.6倍
ソフトウェア・デリバリー・チームに変革をもたらすプログラムを有する可能性が高い

2.9倍
最新のツールとトレンドをチームに習得させる可能性が高い

統合化に注力
2.6倍
セキュリティを早期にアプリ開発と統合化する可能性が高い

3.2倍
Agileとポートフォリオ管理とを統合する可能性が高い

2.6倍
DevOpsの一部として継続的テストを取り入れる可能性が高い

結論

健全なアプリ開発プロセス



AgileとDevOpsの手法をより広範に実装することで、アジリティ・マスターズの成果をどのように達成できるかを学びましょう。

レポート『AgileとDevOpsはデジタルへの対応と移行を如何にして可能にするのか』(英語)をダウンロードして、さらなる詳細をご覧ください。または以下をサイトをご覧ください。

<https://www.ca.com/modern-software-factory>

本調査は、CA Technologiesが後援し、Freeform Dynamics社によって2017年7月に実施されたもので、8業界、15ヶ国の1,279名のITおよび業務部門のエグゼクティブが参加しました。